2020.4　No.75

平和記念だより

◆編集・発行：高松市　人権啓発課　高松市平和記念館
◆連　絡　先：高松市松島町一丁目15番1号
たかまつミライエ5階
TEL:087-833-2211　FAX:087-833-2244

令和元年度　教職員のための平和教育講演会

令和元年12月26日(木)、平和記念館映像学習室で「教職員のための平和教育講演会」を開催しました。「高松空襲を伝える語り部の会」の浄土卓也さんを講師にお迎えし、高松空襲について講演をいただきました。浄土さんが高松空襲の詳細な経緯について説明し、自作の紙芝居「三十年目のぼくの遺骨」を浄土さんの奥様が朗読しました。この紙芝居は、昭和50年8月1日に、天神前の工事現場から発見された白骨化した2つの遺体をテーマにしたものです。白骨のそばから、焼けた防空頭巾や焼夷弾の破片などが見つかったことで、白骨は約30年前の高松空襲の犠牲者のものであることが分かりました。浄土さんたちは、遺骨の身元確認のため奔走し、ある母子であることが判明しました。子どもは当時、わずか7歳でした。浄土さんは、「この子はもっと生きたかった。生きているみんなのように、色々なことをしてみたかったが、理不尽にも空襲で焼死してしまった。このような人たちがいっぱいいた。戦争は残酷であり、二度と繰り返してはいけない。」と熱く訴えていました。

講師：浄土　卓也さん

紙芝居を朗読する浄土さんの奥様

人権学習で平和学習を取り上げることがあるが、修学旅行先の沖縄、長崎、広島だけでなく自分たちの住んでいる高松空襲はもっと身近なものであり、知らなければと思いました。（20代　男性）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展　≪国分寺町≫

令和2年2月20日(木)から3月3日(火)まで、高松国分寺ホールで「戦争遺品等収蔵品巡回展」を開催しました。パネル18点のほか、国分寺町周辺の皆様から寄贈いただい戦争遺品等14点を展示しました。近隣の小中学校の児童・生徒の皆さんが、戦時下を象徴する絵柄の幼児用ちゃんちゃんこなどに、時折、足を止めて見入っていました。また、ホールご利用の皆様にも多数ご覧いただきました。誠にありがとうございました。

「語り部の会」の活動記録

『高松市戦争体験を語り継ぐ語り部の会』では、高松空襲を体験された方などが、香川県内の団体等から依頼を受けて、様々なところで、自らの体験を通して戦争の記憶や教訓、平和の尊さを語る「語り部」活動を行っています。令和元年度は、次のような活動をされています。

（敬称略・50音順）

氏　名	講演などの活動内容
岡田　昌子	5/29　高松空襲体験談と現在の思いが西日本放送で放映された。 7/26・28　高松市戦争遺品展にて親子２組に遺品について説明した様子が、NHKで２日間香川・四国エリアで放映された。
喜田　清	4/2　高松空襲跡にて、高松平和病院新採用職員（医師、事務職、看護職）に説明 6/19　高松空襲跡にて、高松平和病院新採用職員に高松空襲体験談 7/24　高松戦争遺品展にて、高松空襲の写真や遺品の解説 7/30　高松空襲跡地にて、龍雲中学校卒業生有志に高松空襲跡をガイド 8/17～18　瓦町FLAGにて来場者に戦争中の新聞300日分を展示 11/6　三豊市立上高野小６年生に高松空襲体験談 11/13　亀阜小３年生に高松空襲体験談 2/19　高松平和病院新採用職員に高松空襲体験談
浄土　卓也	5/19　坂出市ふれあいセンターにて、主に坂出市民の方に、香川における朝鮮人強制連行・三菱直島精錬所について説明 6/14　協和中１年生に高松空襲の概要紹介 6/21　多肥小６年生に高松空襲の概要紹介 7/3　大野小６年生に高松空襲の概要紹介 7/25　医療生協組合員に高松空襲の概要紹介 9/25　高松一高にて、音楽科２年生に高松空襲概要紹介 9/27　高松一高にて、音楽科１年生に「アジア・太平洋戦争の実相」について講話 10/7　川添小6年生に高松空襲の概要紹介 10/15　栗林小6年生に高松空襲の概要紹介 11/12　林小6年生に高松空襲の概要紹介 11/12　亀阜小6年生に高松空襲の概要紹介 12/26　高松市平和記念館にて、市内の教職員に高松空襲の概要紹介
戸祭　恭子	4/2　高松空襲跡にて、高松平和病院新採用職員（医師、事務職、看護職）に説明 6/6　西日本放送から高松空襲体験の取材を受けた。 6/19　高松平和病院新採用職員に、高松空襲跡を巡りながら高松空襲体験談 8/6　放課後児童クラブの小学生と保護者に高松空襲体験談 12/4　下笠居中１～３年生、下笠居小６年生、保護者を対象に高松空襲体験談 2/19　高松平和病院新採用職員に高松空襲体験談

令和2(2020)年度　前期　行事予定

6・7月

- **高松空襲写真展**
  ６月２７日（土）～７月６日（月）
  場　　所　高松市平和記念館　映像学習室
  展示内容　高松空襲直後の被災写真・パネル・絵画

- **明日に伝える高松空襲（願う会・高松市の共催）**
  ７月４日（土）18時
  場　　所　たかまつミライエ１階多目的室

- **高松市戦争遺品展**
  ７月１４日（火）～７月２０日（月）
  場　　所　瓦町 FLAG２階コンコース
  展示内容　高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料

8月

- **高松戦災・原爆写真展（願う会・高松市の共催）**
  ８月８日（土）～８月１４日（金）
  場　　所　IKŌDE 瓦町　イベント展示コーナー（瓦町 FLAG8 階）
  展示内容　原爆被災写真パネル・ポスターなど

※　**平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭は、９月以降に開催する予定です。**
内　　容　映画「夕凪の街　桜の国」の上映ほか

夕凪の街　桜の国

キャスト　田中 麗奈・麻生 久美子・堺 正章ほか

この人生、全て愛おしいー

何気ない日常生活、家族や恋人との愛にあふれた人生から感じるのは、生きることの喜びと平和への願い。

広島原爆投下から１０年後と現代に生きる２人の女性を通して、現在までに至る原爆の影響を描いた、こうの史代原作「夕凪の街　桜の国」。その難しい題材を扱った内容にもかかわらず、韓国、フランス、アメリカ、オーストラリアなど１０か国で出版され、海外でも注目を集める感動の物語の実写映画。切なくも温かい、命の尊さを語りかける名編です。

収蔵品紹介 65 《最近の寄贈品より》

【飯盒（はんごう）・ゲートル・水筒・ベルト・革製小物入れ】

提供者　宮川　泰子　様

寄贈者の父親の遺品。飯盒（はんごう）・ゲートル・水筒・ベルト・革製小物入れをまとめて寄贈された。

父親は、大正１１年（１９２２）４月生まれ。昭和１８年（１９４３）から昭和２１年（１９４６）まで、ビルマ（現ミャンマー）やシャム（現タイ）方面へ出征し、昭和２１年、浦賀に上陸し復員完結、召集解除となった。

戦時用語解説 59 《ゲートル（巻脚絆・まききゃはん）》

活動時の脛（すね）の保護、障害物の絡まり防止、脚の疲労軽減のため長時間の歩行時に下肢（かし）を締め付けうっ血を防ぐ、などの目的があった。

日本では古くからあり、室町時代末頃から脚絆（きゃはん）といわれ、江戸時代には旅や労働などに脛を保護するために広く使用されるようになった。

巻脚絆（まききゃはん）を陸軍の軍人が使用するようになったのは、カーキ色の軍服となった明治３９年（１９０６）の陸軍服制（ふくせい）改正からである。巻脚絆は、幅９㎝、長さ２ｍ４０㎝のラシャまたは厚手の布に１ｍ５０㎝位の紐（ひも）をつけたもので、ズボンの上から両ひざ下に巻きつけた。中学校生徒に教練（きょうれん）が取り入れられ、中学生も巻脚絆を巻くようになり、太平洋戦争が始まると、巡査、警防（けいぼう）団員をはじめ、すべての男子が防空服装（ぼうくうふくそう）として、外出時にはこの巻脚絆を着用するようになった。

※　参考文献：北村恒信著「戦前・戦中」用語ものしり物語

編集メモ

世界各国で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、高松市も大きく影響を受けています。栗林公園を歩くと観光客はまばらで、外国人の姿もありません。一年中、国内外からたくさんの人たちを迎えているいつもの街の風景とは一変しています。東京 2020 オリンピックも１年延期となったほか、政府が７都府県を対象に、法律に基づく「緊急事態宣言」を行うまでになりました。国内の感染状況は予断を許さない状態です。一日も早く、この事態が収束し、元の平穏な生活にもどることを心から願っております。

高松市平和記念館

開館時間：９時～17 時　休館日：毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）　入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）

http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html